

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 48′ 32″		
				経度	137° 32′ 09″		
中越橋 (フリガナ)ナカゴシハシ	村道第29号線	王滝村					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
王滝村	2016.10.18	河川	有	一般道	三次		

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)				点検者	株式会社 長野技研	点検責任者	吉原潤一
点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	腐食	径間1 主桁 02 写真-8			
	横桁	Ⅱ	腐食	径間1 横桁 05 写真-12			
	床版	Ⅱ	床版ひびわれ	径間1 床版 02 写真-16			
下部構造		Ⅱ	ひびわれ	径間1 下部工 02 写真-27			
支承部		Ⅱ	モルタル割れ	径間1 支承 0102 写真-31			
その他		Ⅲ	地覆:欠損	径間1 地覆 01 写真-33			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)			
点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
Ⅲ	主桁、横桁に腐食、床版ひびわれ、支承部のモルタル割れ 地覆に欠損が生じている。早期に措置を講ずべき状態。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)			起点側		終点側
架設年次	橋長	幅員			
1972年	20m	3.0m			

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁)【判定区分: Ⅱ】	上部構造(横桁)【判定区分: Ⅱ】
写真 8  径間 1 主桁 02 腐食	写真 12  径間 1 横桁 05 腐食
上部構造(床版)【判定区分: Ⅱ】	下部構造【判定区分: Ⅱ】
写真 16  径間 1 床版 02 床版ひびわれ	写真 27  径間 1 下部構造 02 ひびわれ

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

支承部【判定区分: Ⅱ】	その他(地覆)【判定区分: Ⅲ】
写真 31  径間 1 支保 0102 モルタル割れ	写真 33  径間 1 地覆 01 欠損
その他(排水装置)【判定区分: Ⅲ】	【判定区分: 】
写真 43  径間 1 排水装置 201 脱落	